

## 新年明けましておめでとうございます



新年明けましておめでとうございます。本年も皆さまが健康で良い年をお過ごしになりますようにお祈りいたします。

昨年は新型コロナウイルスの感染拡大により多くの皆様が影響を受け、現在もその渦中にあると存じております。

神情協においても多くの協会行事が中止となりました。

なかでも毎年多くの会員の皆様が楽しみにされていた賀詞交換会を開催することができませんでした。何とか開催できないか、時間の短縮、飲食無しでの開催、などの検討を繰り返しましたが、残念ながら苦渋の決断で開催中止とさせて頂きました。

本年も感染拡大は続いており、厳しい状況ではありますが感染予防対策をとりながら、会員企業の皆様に役に立つイベントをできる限り開催するよう取り組んでまいります。

非常事態宣言下でのイベントはできる限りオンラインで開催し、宣言解除下では感染状況を見極めながらリアルとオンライン併用でイベントの開催を検討してまいります。

コロナショックで国内外の経済が深刻な打撃を受け、我々IT業界もプロジェクトの中止、延期で多くの企業が影響を受けています。しかし、AI技術、IoT時代の到来など、業界は大きな変革の時を迎えています。感染拡大が続く状況下、新しい生活様式に合わせ、DXの流れは益々加速します。コロナ禍のピンチはIT業界にとってはチャンスでもあります。

神情協は会員の皆様と力を合わせIT業界を牽引してまいります。

本年も皆様のご理解とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

神奈川県情報サービス産業協会 会長 常山勝彦



## この1年、新しい日常を、新しい笑顔で。

新型コロナウイルスとの闘いが続く中、異例づくして新年がスタートしています。例年のようなお正月を過ごすことができなかった方も大勢いらっしゃったと思います。

また、感染拡大防止のため、私から営業時間の短縮や不要不急の外出自粛などさまざまなお願いをしましたが、それぞれのお立場でご協力いただき、厚くお礼を申し上げます。県民の皆様とともに希望を持って、この難局を乗り越えていきたいと思います。

さて、今年は、昨年延期が決まった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が本番を迎えます。神奈川県ではセーリング、野球・ソフトボール、サッカー、自転車のロードレースが開かれます。開催の夏には、コロナ禍が収束していると信じて、皆さんと心をつなげて、世界中が注目するような素晴らしい大会に盛り上げていきましょう。

また、コロナ禍で私たちの生活は一変しましたが、マイナス面ばかりではありません。これまでなかなか進まなかった“改革”が一気に前進した側面もたくさんありました。神奈川県は全国一、通勤時間の長い都道府県でしたが、今や、リモートワークは当たり前になりました。

働く（WORK）と余暇（VACATION）が一体となったワーケーションなども、普及してきています。以前からアピールしてきた「ちょっと田舎、オシャレな神奈川ライフ」という移住促進策も、三浦半島や県西地域などで具体の成果につながり始めています。

こうした変革を起こすために、最先端の情報通信技術は不可欠なものとなっています。ウィズコロナ、アフターコロナの時代にあって、神奈川県情報サービス産業協会の皆様のご活躍に大いに期待しているところです。

神奈川県情報サービス産業協会の皆さまのご健勝とご発展をお祈りするとともに、いまいちど感染拡大防止の取組へのご協力をお願いして、新しい年のあいさつとさせていただきます。

神奈川県知事 黒岩祐治

※この挨拶は2月5日に提出のあった原稿を掲載しています





## 第23回神奈川県私立大学就職研究会と神情協との情報交換会

開催日：2020年10月30日(金)  
産学連携委員会

感染症対策を施したホテルプラムで、第23回神奈川県私立大学就職研究会と神情協との情報交換会を開催した。感染症対策として人数制限を行い、現地参加12校、32社、オンライン参加6校、49社のハイブリッド開催となり、勝山副委員長司会のもと、常山会長の開会の挨拶に続き、県就研小宮会長の挨拶で始まった。



コロナ禍の影響で情報系以外の企業は、就職の受け入れが早まった状況。そのためか、情報系へ進路変更している学生も多くなっているようである。また、学生の2極化が進み、早々に内定を受け取る学生とそうでない学生とに分かれてしまっている。昨年

秋時点での内定率も前年より低い学校が多く、春の合説が中止になり、授業同様にオンラインでの就職サポートが増えたことも要因のひとつと考えられる。秋から対面授業も一部開始されているようだが、オンラインと併用の場合、オンライン参加の学生が多いようだ。また、オンデマンドでの就職支援では、アーカイブを倍速閲覧で済ませてしまうこともあるという。

富樫委員長からは「幸せな就職のために、Web合説など色々な仕組みづくりと、学校と企業の密な連携が必要」と締めた。今年度は懇談会を中止とし、お茶をしながら各社採用担当者と学校就職課担当者との名刺交換会を行った。



株式会社日本インテリジェントビジネス 萩原一成

## アプリケーションコンテスト2020発表・審査会

開催日：2021年1月28日(木)  
技術委員会

技術委員会主催による第6回アプリケーションコンテスト発表・審査会が、神情協会議室・Zoomを活用したハイブリッド形式で行われた。今年は、ご後援を賜っている横浜市経済局、川崎市経済労働局をお招きしての発表・審査会となった。3作品で競われ、各チームともAI技術等を利用した作品と見事なプレゼンで会場を沸かせた。新人を含め若いチームメンバーもみられ、また、どの作品も技術への真摯な姿勢が伝わる素晴らしいものであった。審査待ち時間のメインルームでは、発表会では披露されなかった話も聞くことができた。特に今回は、コロナ禍で開発を断念したチームもある中、苦難や工夫も紹介し

てもらい、情報交換の場として有意義なものとなった。本コンテストは作品発表者だけではなく見学のみの参加も可能だが、今年はハイブリッド形式ということもあり、より多くの見学参加者により刺激を与えられたように思う。来年以降も大いに盛り上がるものと期待している。

株式会社データプロセスサービス 川村計志

|      |                                   |             |
|------|-----------------------------------|-------------|
| 最優秀賞 | 勉強しまっせ！ 引越の境                      | 株式会社メトロ     |
| 優秀賞  | AIで旅行プランを自動作成するアプリ Make You Tabby | 株式会社CIJ     |
| 優秀賞  | Who are you ?                     | 株式会社アイティサーフ |

## 第15回横浜ITフォーラム2020

開催日：2020年11月12日(木)  
横浜市交流委員会

第15回横浜ITフォーラム2020が、「伊勢の老舗『糸びや』が先端テクノロジー提供企業『EBILAB』を生み出した背景とデジタル化の歩み」と題して開催された。講演者は、通称トッキーの愛称で【目指すは常に世界一】の高い志を持ち、国内外No.1シェアの製品デザイナー/No.1シェア請負人/軍師で有名な常盤木龍治氏。まず第一声で、



「より強い日本を作っていく！人手不足の時代、より良いサービス提供のため、サービス価値を高める仕事しかない！！」とセンセーショナルな講義内容から始まり、視聴者の心をグッと引き付けた。

コロナ禍における先端テクノロジーを駆使した仕事への取り組み次第で今後企業価値や業績、社員や顧客の意識改革などを促していく方法論を拝聴でき、あっという間の1時間45分であった。



(参加者は会場参加者52名、ウェビナー参加者57名の計109名であった)

鈴与シンワート株式会社 田高 正

## 埼玉県春日部市 首都圏外郭放水路（防災地下神殿）見学会

開催日：2020年11月4日(水)  
技術委員会

快晴の天気の中、20人の参加者とともに「防災地下神殿」を見学した。施設の仕組みは標高が低く治水に悩まされてきた地域の5つの中小河川の洪水を集め、ポンプで江戸川に排水するというものである。1秒に小学校の25mプールの水1杯分(200立方メートル)を排水する能力を保有している。見学者は100段ほどの階段を降りて地下神殿に入る。

空間はサッカー場程度の面積と聞いていたが、かなり大きく見える。幅2m高さ18m重量500tの柱が59本林立している巨大な地下空間建造物で、雰囲気はまさしく神殿である。実際に使われた事があるのか？と質問したところ、本年ですでに8回水が入っており、ポンプによる排水も4回の稼働実績があるとのこと。そのわりには綺麗で匂いも少ない。それは水が引いたあとに見学者が入る場所を毎回清掃しているからだそうで

ある。

見学者からは、過去にどの高さまで水が入ったか、川の生き物が流れ込んだ事はあるのかなど、多くの質問があげられていた。コロナ禍の影響で見学終了後の懇親会がなかったことが心残りではあるが、地域を支える防災施設を体感でき、とても有意義であった。本見学会の企画・遂行に尽力頂いた方々に感謝申し上げます。



ジスクソフト株式会社 白川正也



## 第3回オープンセミナー

開催日：2020年12月8日(火)  
技術委員会

第3回オープンセミナー（Capture The Flag：コンピュータセキュリティに問題を解く事で技量や知識を競うイベント）が開催された。今回は過去2回の集合型ではなくZoomによるオンラインで、チームごとにブレイクアウトルームに分かれ、サイバー攻撃に対するセキュリティ対応などを学ぶイベントとなった。今回の参加チームは、昨年に引き続き学校法人岩崎学園 情報科学専門学校のチームに加え、東京都情報産業協会のチームもあり、全20チームで学びを深めながら勝敗を競った。

提示された6問のほか、問題中に埋め込まれているシークレット問題を含め全7問。クラウドサービスの脆弱性やリバースブルートフォース攻撃といったニュースにもなった事例を基にした問題もあり、参加者のみならず参観者にも勉強となった。また、今回は協議中に参観者が各チームのルームを訪問し、その背景画を採点する背景賞もあり、各チームの趣向を凝らした背景を楽しむこともできた。

競技終了後は、講師のアルファ・ウェーブ柴山氏（毎回ありがとうございます！）から各問題の狙いと解説をいただき、上位3チーム（1位 AXSEEDクラウド開発部、2位 エーアイネットテクノロジー Team AI Net S、



3位 岩崎学園 情報科学専門学校 B1sc0）と背景賞（ジェイエスピー チームサンショウウオ、ハイ・アベイラビリティ・システムズ HAS\_3勇士）の表彰を行い、各チームの感想を発表し閉会となった。

株式会社ゼロワン 岡本知彦



## 第38回社内教育に関する情報交換会

開催日：2020年12月9日(水)  
教育研修委員会



2020年度の情報交換会は、コロナ対策のため、昨年と異なるハイブリット方式（オンラインと会場参加）という、時代背景を感じる方法で実施。株式会社アイテック、株式会

社CNNグループ、株式会社シンクスバンク、株式会社データプロセスサービス、株式会社日本コンサルタントグループ、一般社団法人日本産業カウンセラー協会、株式会社フルネスの7団体が出席し、各企業が教育講座の実績、研修の特徴などを発表した。

その内容は、「オンラインでもリアルの集合研修と変わらない感覚で参加者に受講してもらうための工夫」「コロナ禍で必要な社会人スキル」「オンラインで発生している悩みを解消するためのスキルアップ」「運営側での取り組み」など、【コロ

ナ禍でのオンライン研修方法の現状とその工夫】といったテーマが多く、本年ならではの特徴と言えよう。

参加各社共通の利点としては、一般的にはあまり機会に恵まれない「同業者同士の情報交換という場での悩み共有や解決方法の発見」「研修を検討している企業にはそれら情報が参考になる点」ではないだろうか？

急速に増えてきた、「テレワーク」「オンライン〇〇」など、新しいスタイルでの働き方や学びなどが、今後より拡大・浸透してゆくことが予測されるため、こうした内容は委員会参加各社だけではなく、神情協参加各社へも共有していきたい内容だ。

株式会社フルネス 古賀由麻



## 横浜市交流委員会施設見学会

開催日：2020年12月11日(金)  
横浜市交流委員会

2020年4月にスタートした、“Yokohama Hardtech Hub（三菱重工横浜制作所本牧工場内）”を見学した。まず、施設に入るなり驚いたのはスケールの大きさである。さすが日本の基幹産業を担うプレーヤーのひとつ三菱重工の「Hardtech」という規模感で、施設内の移動には自転車が必要？という参加者の声も聞こえた。

大企業におけるイノベーション創出空間運営の背景には、スタートアップの柔軟発想との“シナジー”という側面が真の狙いではないか？と心の中で思っていたのだが、その心が見透か



されていたかの如く、そのような狙いは無いと施設担当者の方が説明。三菱重工がこの空間を作った目的とは、「これまでの工業技術の継続とさらなる発

展のため【Hardtech】の火を消してはならない！という業界のリーダーとしての責任感」なのではないかと感じた。

現在、入居している企業は5社。木工・宇宙・金型・振動テスト・素材開発といったようにものづくりの領域で多岐に渡る。入居条件はさまざまあるが、当施設の考え方に共感し共に盛り上げられる企業だという。また、各スペースをいつでもオープンな状態にしておくことを重視していた。実際、私たちの突然の訪問にもかかわらず、各入居企業様は温かく我々を受け入れ、振動試験用の装置をスピーカーとして使うデモンストレーションも披露してくれた。コロナ禍での見学であったが、広大な施設のため「密」要素が微塵もない、3密を徹底的に回避した素晴らしい見学となった。



株式会社ネットフォレスト 三上晃弘



# 参加しよう委員会！！ ～委員会メンバー募集中～

興味のある委員会がございましたら、まずは正式に参加される前に、オブザーバーとして参加してみてください。  
委員会内容や雰囲気を感じていただき、この委員会に入りたいと思われたら、正式に参加登録をお願いいたします。  
オブザーバー参加を希望される方は、神情協事務局 [kia@kia.or.jp](mailto:kia@kia.or.jp) までお気軽にご相談ください。

## 企業経営委員会

企業経営委員会は、経営者、企業経営の視点から各社の成長戦略を加速させる新規事業の推進や、現行事業を充実させる経営改革支援が重点事業です。

『経営者座談会』や『経営者勉強会』では、各社の経営戦略を参考に経営課題の共有や問題解決のヒントを得ることができます。

『若手経営研究会』では、新感覚での協会活動の提言を奨励する等、次世代人材の研鑽の場とします。

『ビジネスフォーラム』では他団体&多様性との融合を図り、新たなビジネスチャンスの創出・拡大を目指します。

会員交流分科会ではXmasパーティなど会員間連携を充実させるため、幅広い世代に交流の場を提供し、若年層から経営層までを協会活動に呼び込んでいます。

またゴルフコンペなどで経営層と労働者の交流を進めています。そして地域を越えた団体間の連携を深め、全会員参加型・地域連携型の協会活動を目指してまいります。



ビジネスフォーラム



ゴルフコンペ

### <委員会の抱負と参加するメリット>

- ・経営革新を促すうえで、経営者のみならず従業員、若手など様々な視点から企業経営を支えています。また普段接点のない経営層との接点を作り、企業経営の底上げに貢献するとともに、次世代の経営者の教育も行います。
- ・いろいろなイベントを担当することで、経営者との距離、経営者の考え方、人脈が飛躍的に広がります。フォーラムで司会をするなどにより自身のアピールが可能です。年度初めに委員会メンバーの意見や発案で活動計画を策定しています。

## 教育研修委員会

教育研修委員会は、日々新たな技術が生まれる時代の中、人材育成は企業にとって重要な課題となるなか、当教育研修委員会では課題解決のサポートにつながる最新の技術研修、管理者向け研修、そして、自ら考え行動できる自立型人材の育成支援に向けた教育研修の企画・推進を行っています。

- 1.新入社員向け研修
- 2.中堅技術者向け研修
- 3.ヒューマンスキルや管理職向け研修
- 4.様々な形の研修

SEハンドブック



マネジメント研修

- ・eラーニング、海外のITを体感する海外研修、若手から中堅まで活用できるSEハンドブックの発行など様々な形での教育を提供しています。

海外研修  
(オランダ・ポーランド)

### <委員会の抱負と参加するメリット>

- ・昨今、人材不足のなか最新技術のスキルや人間力向上などの人材育成であり、教育研修委員会は時代にあった講座やeラーニング、通信教育など会員の皆様に提供を行います。
- ・4つの分科会にて研修プログラム立案に参加することで、新たな知識に触れることができ自己成長につながります。また、教育担当者、教育事業者が多く参加していますので教育に関する情報交換が活発にできます。



## 産学連携委員会

産学連携委員会では“新卒の学生が笑顔でIT業界に就職してもらえること”が一つの目標です。そのためには企業側がいかに学生側の状況を把握し、そして企業側がその状況にどのように対応していくか。その課題に対し双方がより良いアプローチをするために、学校や学生と企業との関係を向上させる活動を行っています。大学生や専門学校生、学校関係者を対象にIT業界が正しく理解され、注目されることで、学生採用率を向上させIT業界全体を若い力で盛り上げさせることが活動の大きな目的です。

主な活動は、リクルート推進（学生への合同企業説明会、就職担当者との情報交換会、採用のノウハウの共有）、大学・専門学校との情報交換会、インターンシップ支援（受け入れ企業紹介、学生支援）、SE講座運営支援（企業から学校への講師派遣による企業知名度向上）などを行っています。

### <委員会の抱負と参加するメリット>

- ・人材確保が企業発展の重要な要素になる昨今、学生にIT業界の正しい情報を発信し、企業にとって有益な情報の取得ができるよう産学の連携を深めていくことで、人材採用の面からIT業界を盛り上げてまいります。
- ・学校や学生の就職に対する生の声を聴くことができます。学校や学生と直に接する場が多く、最新動向を得られます。また、参加企業との情報交換や、委員会活動を通して採用に関するノウハウを得ることができます。



合同企業説明会



神奈川県私立大学就職研究会との情報交換会

## 技術委員会

会員企業の技術者の知識・技術の向上に貢献することを目的としています。

### 1. 最新知識の向上

皆様に興味のある最新技術を知識として習得出来る場として、技術セミナーを開催しています。

### 2. 最新技術の習得（研究）

先端技術研究会として、研究テーマ毎に年6回程度研究会を開催しています（AI、AR、VR、IoT、GAN、ブロックチェーン、システムテスト自動化他）。

### 3. 最新技術発表（試す）

アプリケーションコンテストとして、「役立つアプリ」のコンテストを開催しています。作品発表の場ではプレゼンテーション力も向上出来ます。また、技術イベントとしてチーム対抗のクイズ形式でのセキュリティイベント（CaptureTheFlag）等を開催しています。



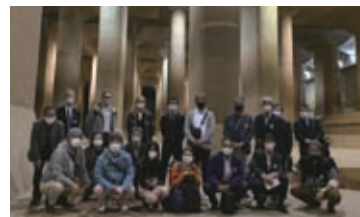
アプリケーションコンテスト



技術イベント  
(Capture  
The Flag)

### ＜委員会の抱負と参加するメリット＞

- ・日々発展する最新技術を経験可能な場として向上心のある技術者の方に活用いただきたいと考えております。なお、2020年度は全てオンライン開催をしており遠隔地からの参加も可能となっております。
- ・委員会メンバー向けのイベントとしては、宿泊研修会や工場見学を行っています。また、会員の皆様向けのイベント運営に参加いただくことにより、最新技術に触れ、多くの方との交流が出来る、視野が広がられますので、特に若手・女性の方の委員会参加をお待ちしています。



工場見学（首都圏外郭放水路）

## 労働福利委員会

労働福利委員会は、労働関連法の研究、これらの会員企業への情報提供、セミナーの開催といった労務管理面での会員サポートと、メンタルヘルス教育事業、スポーツ振興事業、レクリエーション事業（地引綱大会、つり大会）などの従業員向け福利厚生まで、幅広く活動しています。

神情協の各委員会と連携して「働き方改革」に取り組むなかで、弁護士や社会保険労務士の先生にもメンバーとして参加いただいている労働福利委員会ならではの充実した会員サポートを実現しています。

レクリエーションは、従業員の家族も対象とし幅広い交流の場としています。なかでも地引綱大会はお子様を含め500名以上が参加するイベントで、参加いただいた方々の笑顔を見ると、スタッフの苦労も報われます。



フットサル大会



地引綱大会

### ＜委員会の抱負と参加するメリット＞

- ・毎年のように改正される労働関連法について会員各社へのタイムリーな情報提供やセミナーを充実させるとともに、従業員のモチベーションアップにつながるイベントもより良いものにしてまいります。
- ・労働法などの実務面の勉強、屋外が多いイベントの実施と、委員会メンバーの苦労はありますが、経営者から担当者まで幅広いメンバーが協力して楽しみながら委員会活動をしています。委員会への参加をお待ちしています。

労働福利セミナー



## 広報委員会

広報委員会には、大きくふたつの担いがあります。年に3回（3月・7月・11月）発行している会報誌「KIA Wave」の取材・制作が大きな業務です。この会報誌は既に100回以上の発行となり、神情協の歴史とともに歩んできた会報誌といえます。

もうひとつは、当協会のWebサイトの運営管理です。事務局とWeb制作を委託している企業の方々にお任せしている部分がありますが、方向性やコンテンツの精査などは委員会で検討し決めています。

会報誌「KIA Wave」は、記録保存用の要素をもっていますが、Webはこれから行う事業などのお知らせを中心に、協会の玄関口ともいえる広報媒体で会員各社はもちろん、一般の企業や学生など外部への情報発信も重要な目的としています。

また、会員拡大につなげる対外情報発信や、リクルーティングにつながる採用面での協会訴求なども今後の課題として検討しています。

### ＜委員会の抱負と参加するメリット＞

- ・継続的な会員向けの広報、プレゼンス向上のための外部への広報の両面で訴求してまいります。そのためにも、各委員会と連携し交流を図りながら、委員会活動のマスコミへのリリースなどの情報発信を積極的に進めます。
- ・会員企業の経営者、広報担当者、渉外担当者など、幅広い立場の委員で構成される委員会です。委員会への参加を通じて各社のプレゼンス向上の施策のヒントがあると思われます。



会報誌「KIA Wave」



月報「たいまつ」



パンフレット「KIA View」



## 横浜市交流委員会

横浜市交流委員会では横浜市との交流を通じ、横浜市内の産業振興並びに会員企業の事業成長に寄与する活動を展開しています。

主には横浜市経済局が展開するIT関連施策の立案・推進に協力し、「横浜ITフォーラム」などの各種イベントを通じた産官学の相互連携で、新たな付加価値を創造。こうした活動を通じ、域内におけるICT業界のプレゼンス向上のため、横浜市と力を合わせて取り組んでいます。より一層の関係強化に取り組み、横浜経済発展の一助となれるようにと考えています。外部組織との連携では、引き続き市内異業種企業との交流会の実施を通じ、横浜商工会議所・情報関連産業部会と各種事業でのアライアンスを模索。

川崎市交流委員会とのイベント共催などを通じ、両委員会の交流も継続してまいります。



横浜ITフォーラム

### <委員会の抱負と参加するメリット>

- ・横浜市交流委員会では「交流」の名に恥じぬよう「参加してよかった、また出席したい！」と思っただけのような、明るく楽しい委員会運営を心掛けています。
- ・横浜市経済局の方々には毎回必ず出席いただいております。協会との「和」はますます広がっています。一度出席すればハマること間違いありません。「和」の結束力で業界と地元横浜の明るい未来へ邁進中です！



施設見学会

## 川崎市交流委員会

川崎市が推進する事業に貢献すべく、フォーラム開催や施設見学等を行い、川崎市・川崎市産業振興財団・川崎市内諸団体と神情協会企業とのビジネス交流の場を提供しています。また、委員会には会長、副会長、常務理事2名、理事1名が参加しますので、神情協内の委員会活動や動向についても把握し易く、他委員会参加へのきっかけ作りも提供しています。

### 1.川崎市共催によるフォーラム開催

川崎市が推進する事業「ICT産業連携促進事業～ICT産業と異業種連携による産業高度化・活性化～」として、製造業(工業団体連合会)との異業種交流フォーラムを行います。

### 2.川崎市内の施設見学事業(工場見学・夏休み親子わくわく企画・川崎競馬場観覧など)



ものづくり×ICT連携フォーラム

### <委員会の抱負と参加するメリット>

- ・前提として、川崎市に拠点がある企業様向けの委員会となります。川崎市の推進事業への貢献はもちろん、委員会等を通じて、会員企業同士の交流を深め、会員企業様の発展・神情協活動・社会貢献をして参る所存です。
- ・川崎市交流委員会は神情協の委員会の中で一番活動が少ないので、「初めて神情協に加入したけど、どの委員会に入るか迷っている」という企業様には入門委員会としてピッタリです。ご参加お待ちしております。



夏休み親子わくわく工場見学

## 女性活躍ダイバーシティ委員会

女性活躍ダイバーシティ委員会は、女性のキャリアアップを支援すると共に、活躍している女性や所属する企業の取り組みの紹介などを通じて、企業経営にも有益な情報を提供し続けています。また、女性の活躍だけでなく外国人、しょうがい者、高齢者などIT業界における多様な人材活躍のあり方、「多様性のある働き方改革」を研究し、会員企業への情報提供、セミナーの開催や若手従業員間の交流を目的として各種イベントの開催を促進しています。主な活動は以下の通りです。

- 1.女性活躍ダイバーシティ委員会オープンセミナー事業
- 2.表彰制度事業
- 3.座談会事業
- 4.ダイバーシティならびにワークライフバランス推進事業



ベスト・ワーキング・ウーマン表彰

### <委員会の抱負と参加するメリット>

- ・多様なニーズをもつ人(子育て・介護・しょうがい者・外国人)が働き続けるために必要な情報や調査・研究をし、会員企業へ提供します。他の委員会とも積極的に交流をし、企業へ有益となるように活動していきます。
- ・役職、性別にとらわれずに協力しあい、意見交換がしやすい委員会です。各社の取り組みや状況、更に法律や制度を幅広く理解できる機会があります。他社との交流ならびに研鑽の場としてのメリットがあります。



女性次世代リーダー研修会

## SE講座特別委員会

大学向けSE講座は、大学の学生向けに、IT業界の正しい理解を頂くこと、さらに当業界に就業を勧める事を目的として、2004年度より神奈川県私立大学就職研究会加盟各大学を中心に講座を開講しています。SE講座の講師は会員各社からの推薦により、本特別委員会で面接を行い、講師の認定を行います。是非、SE講座講師に応募ください。



SE講座講師意見交換会

# シリーズ会員企業訪問

## ■株式会社八芝ソフトエンジニアリング

株式会社八芝ソフトエンジニアリングは、昭和35年から続く八芝運送株式会社を母体とする、他に類を見ないシステム開発会社である。運送業で付き合いのあった東芝から、システム開発要員の依頼を受け人材派遣・請負を始めたことがきっかけとなり、平成元年4月に誕生した。

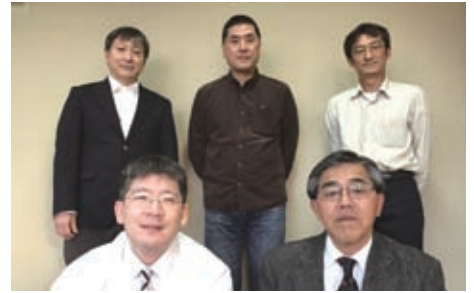
運送業からシステム開発業への挑戦ということで、社員の育成では苦労も多かったようだ。取材の中で「人は信頼が大事」という言葉を代表取締役社長本崎勝也氏は繰り返した。

「自分がしてほしいことをお客様にするよう、常日頃社員と話している。それが信頼に繋がるはずだ。」と。その信条が社員にも浸透し、技

術者が年を重ねてもお客様からの厚い信頼により契約を継続いただいているとのこと。

今後の展望として、運送業とシステム開発保守の組み合わせを計画していると伺った。運送業ではATMや電車の自動券売機などの搬入、据え付けを行っている。そこで単なる運送だけではなく、ハードの保守要員を組み合わせることで、八芝グループにしかできないサービス提供を目指している。異業種同士だからこそできる、付加価値のあるサービスは八芝ソフトエンジニアリングの今後の強みとなるだろう。

パソコンの廃棄・処分からオフィスの引越などの対応も行っており、お困りの協会会員企業は一度お問い合わせいただきたい。



設立：1989年4月1日  
資本金：1,000万円  
売上高：5,700万円  
社員数：5名  
住所：神奈川県横浜市鶴見区  
駒岡5-10-15  
Tel：045-573-1050  
URL：<https://www.yashiba.co.jp/>

## ■デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社

デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社（以下DIT）は、10期連続で増収・増益を果たし、時流に乗り最も勢いのある企業の一つである。

母体となる東洋コンピュータシステム株式会社は金融系を中心に事業展開を行っていた。さまざまなIT分野に対応すべく会社を新設、M&Aを図り2002年DITを設立し統合した。

DITの好業績を支える要因はカンパニー制の導入である。縦割りが強かった各事業が連携し、相互成長を促進。より責任が明確化されたことで、各カンパニーが目標達成へ向けた迅速な経営判断やパフォーマンスの向上を実現した。幅広い事業領域と成長性の高い分野への

投資がDITの成長を促している。

また、「WebARGUS」「xoBlos」といった自社商品を展開。創業当初から継続して開発してきた自社商品が、上場したことを機に市場拡大へと繋がった。現在も自社商品の拡充に向けた取り組みを行い、他社との差別化を進めている。

現会長の出身地の愛媛県に事務所を置き、地方の若い活力を取り入れるなど、人材確保の課題解決とともに地域活性、地域貢献も行っている。

コロナ禍で業績に影響が出ている会社も多い中、業績自体にコロナの影響はほぼないと言い切る。人材育成や社員教育などの課題が表面化したのが、むしろ課題解決のチャンスになったと、よい方向と捉えている。今後もDITの躍進は止まらない。



設立：2002年1月4日  
資本金：4億5千万円  
売上高：134億円  
社員数：1056名  
住所：東京都中央区八丁堀4-5-4  
FORECAST桜橋5F  
Tel：03-6311-6520  
URL：<https://www.ditgroup.jp/>

## ■株式会社湘南ビジネス

1999年10月に4名でスタートした株式会社湘南ビジネスは、官公庁および自治体向けの積算システム開発を中心に発展。2018年に20周年を迎えた後、2020年1月に現会長の大見氏から、当時社外取締役だった増田氏へ代表をバトンタッチし、第一コンピュータサービスのグループ会社となった。

現在社員数は39名。ベテラン社員が多く、7割以上は未経験者だったという。独自の適性検査に重きを置き、それをクリアした研修生は3ヶ月間の社内教育、評価を経て正社員となる。

「社員の育成、指導・支援する機会を作ることが会社の使命」と企業理念を掲げ、20年以上にわたり安定経営を続けているのは「トラブルを起こさない」「ノウハウが確立している」「コ

ストをかけずによいものを仕上げたい」という自信と信頼の証があるからだ。コロナ禍でもその経営は揺るぎがない。「敷居は高くとも入社すれば一生もの。中途採用でも未経験者を積極的に採用したい。ぜひ応募を!」と語る。

今後はAIなども取り入れ、新たな技術を提供していきたいという湘南ビジネス。グループでの業務支援など、社員間の交流を活発に行いながら、2025年のグループ総売上倍増目標に貢献すべく、業容拡大を目指す。



設立：1999年10月1日  
資本金：1000万円  
売上高：3億5000万円  
社員数：39名  
住所：神奈川県秦野市今川町2-17  
都築第2ビル3F  
Tel：0463-80-2252  
URL：<https://www.shonan-bank.co.jp/>



## ●講師

株式会社WOMAN COLLEGE 黒田佳奈子 大谷恭子

困難の中で無事に開催でき、笑顔と拍手で終われたことに、まずは御礼を申し上げたい。神情協初のZoom×会場のハイブリッド開催で運営の責任もあったが、会場ではひとりひとりの顔がよく見え、オンラインでは気兼ねなく意見を交わせる雰囲気があり、それぞれの良さを生かしたのではないかなと思う。

「今までで一番、気づきが多い研修でした」という言葉ももらった時、ウィルスで理由に学びや交流の機会が奪われてはいけなと痛感した。参加を決めていただけた企業様にも感謝したい。

## ●会場参加

株式会社アイネット 井田奈都美

全三回の研修を通して、自分はどのような人間で、どのような固定観念をもっているのかを考えるいい機会となった。昨今、多

様性ということばを見聞きすることは多いが、「ダイバーシティ&インクルージョン」として、個々の違いを認識し、お互いが尊重し、その違いを活かすことの大切さを黒田先生の分かりやすいお話を通して実感した。

また、現在はコロナ禍で他社の方と交流する機会がなかったが、同じような悩みを抱えた方々と情報交換することで、モチベーション向上に繋がった。

## ●オンライン参加

株式会社データプロセス サービス 安藤 星川

仕事を進める上での調整役になれたらと思い参加した。多様性の理解、自己分析による他者への接し方、自身のキャリアと人生設計についての学びを通し、皆がいい関係で仕事ができるようにしたいと考えるようになった。また、オンラインで参加した者同士でグループ分けや直接質問ができる環境、バックアップ体制もしっかりあり、受講で不便を感じることはなかった。むしろ画面上で顔を見る機会が多いため参加者に親近感を感じた。



## 賛助会員紹介

### 小島勇祐法律事務所

#### ■自己紹介

はじめまして。弁護士の小島勇祐（おじまゆうすけ）と申します。神奈川県情報サービス産業協会には、平成28年（2016年）と平成29年（2017年）にセミナー講師を依頼していただいたご縁で賛助会員として参加させていただいています。労働福利委員会に所属しており、楽しいイベントは大好きですので地引き綱やフットサルなどのお手伝いは時間の許す限り参加させていただいています。また、あまり出席できていないのですが心情フォトクラブにも参加しています。

#### ■対応可能業務

当事務所はその名のとおり、私が開設した事務所です。平成22年（2010年）に開設し、昨年で無事10周年を迎えることができました。

最も注力している分野はセミナーでもテーマとさせていただいた労働分野（主に使用者側）です。残業代、解雇、労災などの個別労働紛争から労働組合に関することまで対応可能です。

製造業、運送業、不動産業、商業協同組合、学校法人、介護施設など幅広い業種の法人と顧問契約を締結していますので、会社にかかわる問題全般（もちろんシステムやITにかかわるものも含みます）に対応可能です。

また、相続、離婚、交通事故、刑事といった個人の案件も数多く取り扱っています。

#### ■メッセージ

まだお目にかかったことのない方でも「神情協」の名前を出して頂ければ優先的に対応させていただきます。会社・個人の問題問わずお困りの問題がありましたら、電話でもメールでも結構ですのでお気軽にご連絡をいただけましたら幸いです。

〒231-0011

横浜市中区太田町1-20 三和ビル3階D号室

TEL 045-228-7237 FAX 045-228-7238

E-mail y.ojima@ojimalaw.jp



## 新会員 INFORMATION

#### ■正会員

有限会社キューブ  
横浜市西区平沼  
代表 佐藤 信司  
<http://www.cube-i.jp/>  
TEL 045-290-6623  
業務 システム開発、保守管理業務

#### ■正会員

株式会社マインド  
川崎市幸区堀川町  
代表 屋代 和将  
<https://e-mind.co.jp/>  
TEL 044-272-9093  
業務 MosP勤怠管理の開発・販売・運用保守  
intra-martを利用した業務アプリケーションの開発